

どうする？日本のお産

ファイナル

ディスカッション大会 in 東京

全国的に広がる産科医院の閉鎖、産科医・助産師不足。

産む場所が見つからない、お産を支えてくれる人が見つからない……

この深刻な状況を一刻も早く何とかしたい。

何が問題なのでしょう？誰が何をしていくべきでしょう？

医療者も一般の人も、学生さんも行政の人も、みんなの声が必要です。

いのちが生まれ育つ環境について、みんなの知恵を寄せ集めませんか。

私たちは、今年一年かけて全国8ヶ所で様々な立場の人が集い、ディスカッションをするリレー企画を展開してきました。



5/14 横浜、6/4 仙台、6/25 埼玉、7/16 京都、8/27 札幌、10/1 長野、10/22 愛知、11/11 高知

共通テーマ「女性と赤ちゃんが安全で安心してお産するためには、誰が何をしますか？」



ファイナルのディスカッションテーマ

【産】産む場所が【消】消えそうだから【協】みんなで協力して【動】行動しましょう

【日時】平成 18 年 12 月 17 日 (日)

10 時受付 10 時 30 分～16 時(予定)

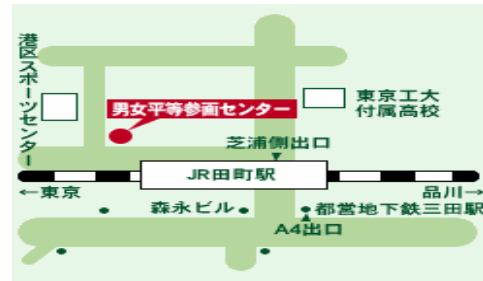
【参加費】1,000 円

【会場】港区男女平等参画センター(リーブラ)

京都港区芝浦3丁目1番47号

03-3456-4149 (場所確認のみ)

外出もできますが、できるだけお弁当をお持ちください。



<会場へのアクセス>

JR 京浜東北線・山手線田町駅(芝浦口) 徒歩 2 分

都営浅草線・三田線三田駅 徒歩 4 分

【参加申込】

<http://do-osan.socoda.net>

申込みフォームまたは FAX 045-474-5007

(お名前・職種・ご連絡先をご記入ください)

当日参加も可能ですが、事前申込みを優先させていただきます。



お子様と一緒にご参加いただけるよう、会場内に敷きものを敷き、スペースを作ります。どうぞ一緒にご参加ください。

授乳室として控室を用意しています。よろしければご利用ください。

【主催】どうする？日本のお産 東京大会実行委員会(代表 小野田)【お問い合わせ先】e-mail: empowerbc@nifty.com

【後援】厚生労働省(申請中)・東京都(申請中)

マスメディアの皆様へ

今回、会場の利用規約により撮影・取材には、事前申請を行い許可を取る必要があります。

お手数をおかけしますが、

件名に【取材・撮影の希望】と明記の上、

下記のメールアドレスまでお問合せください。

担当者より詳細をご連絡させていただきます。

【申込み締め切り】11月24日(金)

do-osan.tokyo@socoda.net